

日時・場所	平成 29 年 10 月 17 日 (火) 15 : 00~17 : 30 高松市医師会館
参加者	受講者 39 名 行政担当者 6 名
内 容	<p>1. 全体説明：在宅医療コーディネーター養成の目的と役割 吉澤委員長</p> <p>2. 情報提供①：在宅医療コーディネーターの役割と業務内容 大橋委員</p> <p>3. 情報提供②：患者・家族の意思決定支援のポイント 片山委員</p> <p>4. グループワーク：自己紹介等</p>
結 果	<p><u>1. 在宅医療コーディネーター養成の目的と役割について</u></p> <p>○高松市在宅医療介護連携推進会議における取組内容</p> <p>○在宅医療コーディネーターの配置と役割</p> <p>○高松市における医療・介護連携のイメージ</p> <p><u>2. 情報提供①：在宅医療コーディネーターの役割と業務内容について</u></p> <p>○在宅医療コーディネーターとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困難事例に必要な、意思決定（ACP）に基づいた支援を行う ・ 関係者に医療とケアマネジメントを含めた介護のサポートを行う ・ 医療～介護の架け橋づくりのサポートを行う <p>○病院完結型医療から地域完結型医療に変換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院医師・在宅医・訪問看護師・介護スタッフと患者・家族との認識（意思決定）の共有が必要であり、これを調整するのがコーディネーターの役割である ・ 医療者は、市民がより良く生活できるように協力していく必要がある <p><u>3. 情報提供②：患者・家族の意思決定支援のポイントについて</u></p> <p>○医療に関与する意思決定支援とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『全ての望みをかなえることは困難』だからこそ、意向の理由や背景を知ることが重要であり、納得して意思決定をしてもらう ・ 対象を「人として見る」視点が重要 <p>○意思決定支援＝ナラティブの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者がチームで行う <p>○意思決定支援の三本柱</p> <p><u>4. オリエンテーションと自己紹介</u></p> <p>グループに分かれて、オリエンテーションと自己紹介を行う</p>